

厚生

シルバー人材センター棟の補修工事完了

南面の基礎と建物内のクラックは建物の構造等の問題はないので復旧と今後の対策を施工事を完了した。

新介護保険の特定高齢者把握は

特定高齢者把握事業については集団検診で問診等でチェックを行い、対象者を把握することにしているが、5月実施207人の結果は、対象者はわずか4人。

この傾向から基本検診で把握できるのは全体で40人程度となり予定の340人にはほど遠い。

委員会として検診に出来ない人、申し込みされない人がハイリスク者であり実態把握の方が的確な把握事業であると指摘していたが、その傾向が如実になったわけで抜本

的な再検討が必要である。今後、アンケート形式で実態調査すること、未受診者と受診者別に特定高齢者の介護受給移行率も把握するよう要請。

ごみ発生量が増加

5町の可燃ごみ搬入実績は、年間1人当たり17年度は志免町229、3kg、宇美町226、5kgと宇美町が一番少なくなり、さらにごみの減量に取り組みなければならぬ。

裁判は和解協議中

焼却場周辺住民との裁判の経緯は、裁判長の和解の検討要請を受け、引き続き和解について協議中とのことで努力されるよう要請。

中央学童保育所

建設工事が終わり、9月4日より使用開始。視察を行い、南側に非常口の設置を要請。

保育園民営化の説明会開始

6月29日、全保育園園長に民営化についての説明、その後職員組合、町内会会長会、保護者への説明会の段取り調整が数回にわたって行われた。8月8日、保育園職員説明会が開催され、107人が参加。8月18日、西小学校区内の町内会会長への説明会開催。8月28日、別府保育

園父母の役員への説明会を開催した。10月から一般保護者への説明会が開催される予定で、多くの議論が展開されると思う。

先進自治体の例を見ても、問題となっている自治体の多くは住民、保護者への説明、情報、議論不足による混乱が大半であり、このことだけは絶対に回避するように子育て課に強く要請した。



写真 可愛い園児達

福岡都市圏広域行政調査

志免、宇美、須恵3町合同の広域委員会を開催。公共施設の相互利用については、減免団体など3町で再協議するとした。3町の防犯対策は、町境の暗部等に防犯灯の設置など検討することを確認した。児童福祉法の改正により「児童相談所のような機能を持つ支援センター」の設置が求められているが、各町担当者においても認識に温度差があり3町合同で研修会等を行うことで合意した。雨水利用については、各町の委員会で協議し、具体案が提案されれば改めて議題とすることとした。

志免跡地対策

ボタ山すそ野を志免町7人、須恵町3人の方が無断使用している件は、秋の収穫が終わり次第使用をやめ返還するとのこと。8月29日野坑槽周辺のフェンス及び道路の舗装工事を完了し、委員会が現地を視察した。

また、ボタ山関連の視察では、北海道岩見沢市万字炭山森林公園は、森林公園の中にある8万6,000坪、高さ500メートルのボタ山は、地球温

暖化対策として林野庁と北海道庁より100%予算出資において植林し現在では両隣の山と自然に一体化していた。また美咲市の炭鉱メモリアル森林公園も視察。今後のまちづくりを参考として視察したことを活かしていきたい。

広報紙づくりが住民に伝えなければならぬ情報を選択し、限られた紙面にいかに要約してわかりやすく載せるか、町民に読んでもらい、正しく理解してもらうことが大事である。そのためには読みやすい文章にする、レイアウト、写真等に配慮することが必要である。このことを実践してある宮崎県の高千穂町議会



写真 広報委員会研修

議会広報

に視察へ行った。地元をより豊かな住みよい町にする、このためには行政からの毅然とした批判、監視機能の確立こそが議会報の生命線である、議会で議論された事項がその後どうなっているのか追跡レポートを報じるのも大切な役割である等の意見が出され、さらに努力を求められていることを痛感した研修であった。

議会最終日報告

乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正

平成19年1月から3歳未満の乳幼児の初診料及び往診料が自己負担から無料になるもの。

全員賛成

平成17年度老人保健決算

1人当たり老人医療費の福岡県内高順位で16年度は宇美町が1位、志免町が2位となり、過去12年間で最低の順位となった。

医療費額は16年度109万円となり全国平均との差は31万円、4割も高い。

データをしっかり分析し、健康プロジェクトチームの強化、機能する組織の構築、有効な事業の推進を要請した。

全員賛成

平成17年度国民健康保険決算

保険給付費の伸びは一割もアップし、額で2億1,850万円も増えている。

志免町が医療費が高いのは入院施設が整った医療機関が多いからではとの声があったが、今回提示された国保連合会のデータでは問題はなかった。

より一層の抑制策を展開するよう要請した。全員賛成

意見書 1件

意見書	提出先	意見書内容	採決結果
教育基本法の改定案の撤回を求める意見書の提出について	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣	改定案は「教育の目標」として「国を愛する態度」など「徳目」を列挙し、教育内容を数値目標を決め、評価することで、教育への無制限な介入・支配を可能にしている。「人格の完成」を目指す教育から、「国策に従う人間」を作る教育へと転換させようとしている。現行の教育基本法を堅持し、改定案の撤回を求める。	不採択

人事案件

志免町選挙管理委員会委員

任期
平成18年10月9日、
平成22年10月8日

山田 忠政
福田 勲
三角 正行
豊永 耕司

志免町選挙管理委員会補充員

火山 肥佐子
高田 重信
田原 義広
峯 桂子
(敬称略)